

# 高等学校における道德教育の展開

Q 高等学校における道德教育の考え方とは何ですか？

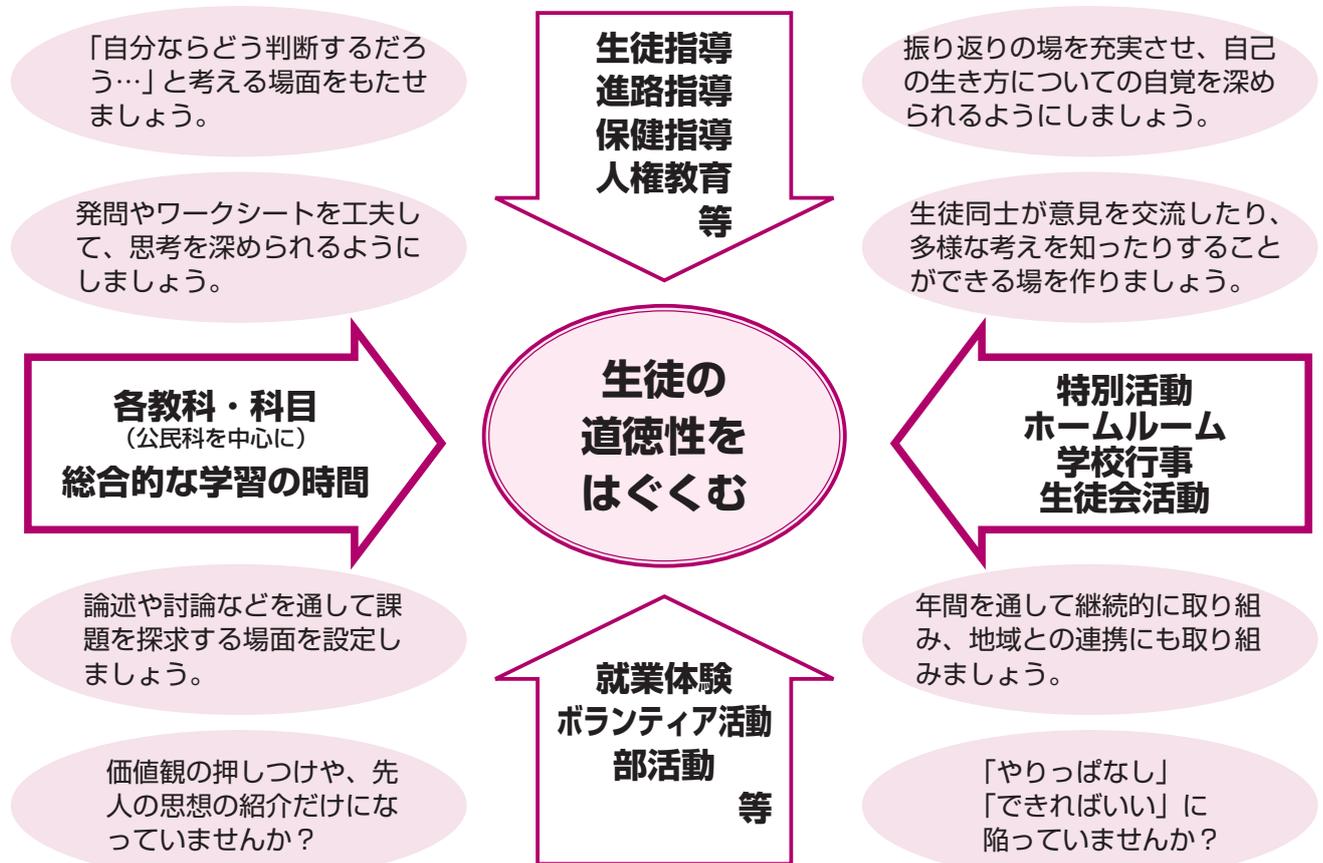
A 人間としての在り方生き方に関する教育を、学校の教育活動全体を通じて行います。

高等学校においては、道德の時間は設けられていませんが、公民科やホームルーム活動を中心に各教科・科目の特質に応じ、学校の教育活動全体を通じて、生徒が人間としての在り方生き方を主体的に探求し豊かな自己形成ができるよう、適切な指導を行います。

小・中学校における道德教育も踏まえつつ、生徒の発達の段階にふさわしい高等学校における道德教育を行うことが大切です。

Q では、どうやって高等学校での道德教育を進めればよいでしょう？

A 様々な体験や思索の機会を通して、生徒自らが考え、自覚を深めて自己実現に資するように指導を工夫します。



Q 従来の教育活動をどのように工夫・改善すればよいですか？

A 今までの教育活動を、道德教育の視点から見直してみましょう。

- 1 学校の教育目標や育てたい生徒像から、自校の道德教育の重点目標を明確にします。
- 2 各教科、分掌等が連携し、重点目標を意識した道德教育の全体計画を作成します。
- 3 教職員全員でその内容を共有し、道德教育の重点目標を意識した教育活動を、組織的・計画的に実践します。

## Q 高等学校における道徳教育はどのように実践すれば良いですか？

**A 学校の教育活動全体を通じて、各教科・科目、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて実施します。**

まず、日常の様々な教育活動の場面において、人間としての在り方生き方に関する教育を意識的・意図的に実施するという意識をもつことが大切です。従来の教育活動でも実践してきたことを、学校の全体計画に沿って、関連する道徳的価値を明確にした上で、日常の教育活動の一場面に組織的・計画的に組み込んでいくことが求められます。

高等学校における道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて、各教科・科目、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて実施するものですが、特に公民科の「現代社会」と「倫理」、特別活動は中核的な指導の場面として重視されています。この他の各教科・科目においても、各教科・科目の目標や内容と「人間としての在り方生き方についての自覚を深める」ことの関連が見られます。

そこで、ここでは、授業の一場面での「人間としての在り方生き方について考える」事例と、特別活動等での実践例を紹介します。なお、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育についての考え方は、「第1章」の(6)道徳教育はいつどこで行えばよいのだろう」(P7)を参考にしてください。

### 公民科

#### ◇教科の目標◇

「広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。」

#### <「現代社会」と道徳教育との関連>

○現代社会の諸課題を取り上げて考察させ、理解を深めさせるとともに、議論などを通して自分の考えをまとめたり、説明・論述するなど課題を探究させる学習を行い、人間としての在り方生き方についての学習の充実を図る。

#### <実践例>

科目・題材	現代社会 「地球温暖化問題への取組」
内容	<p>地球環境問題の中でも特に我々の産業活動との関連が深く、深刻な影響が懸念されているのが温暖化である。これまで気候変動枠組条約の締約国会議で二酸化炭素の削減目標が定められ、国際社会は温暖化対策の第一歩を歩み出した。</p> <p>しかし、発展途上国に削減義務はなく、アメリカが条約から離脱するなど世界的な取組が大きく進展しにくい現状がある。また、有限である資源の有効活用・省資源・省エネルギーをどのように推進するか、いかに循環型社会を形成していくかも現在の私たちには求められており、未来の人々に安心できる環境を残していく責任がある。そのために、世界の国々が自国の利害を越えて協力をするのが不可欠である。そして、一人一人が地球温暖化問題を身近な問題と認識し、できることを主体的に実践することが求められている。</p>

#### (在り方生き方に関する教育の展開)

学習を進める中で、地球温暖化をグローバルな視点で考えさせる。また、今の日本の豊かな生活の維持や更なる豊かさの追求と、地球温暖化問題とのつながりも含めて、「私たちはどうすべきか」「自分に何ができるか」を考えさせる。

#### (関連する道徳的価値)

○環境保全 ○より良い社会の実現 ○国際的視野

#### (考えさせる発問の例)

- 日常生活において、地球温暖化防止のために自分にできることは何でしょう。
- 将来の生き方・働き方などと環境問題との関連を考えてみましょう。
- 他国で暮らしている立場になって、これからの地球環境について考えてみましょう。

## 国語科

### ◇教科の目標◇

「国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。」

### <道徳教育との関連>

- 国語力や国語科の活動は道徳教育を進めていく上での基盤となり、道徳的心情や道徳的判断力を養う基本となる。
- 伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図る態度を育成することにつながる。

### <実践例>

科目・題材	現代文 「魯迅 藤野先生」
内容	中国からの留学生である「私」は仙台で医学を学び、そこで解剖学の藤野先生から個人的なノートへの添削など親切な指導を受けて感激する。しかし、日本人学生から不愉快な思いを受けさせられた「私」は医学の勉強をやめて仙台を去ることになった。別れに際して藤野先生は「惜別」と書かれた写真を「私」に与えた。その写真と文字は、その後の「私」に強い勇気を与え続け、藤野先生への崇敬の思いは今も続いている。

#### (在り方生き方に関する教育の展開)

この小説を通じて、人間として誠実に他者に向かい合っていくことについて思考を深めさせる。さらに、祖国を異にする人間同士が互いの理解を真に深めていく方途について考えさせる。

#### (関連する道徳的価値)

- 国際理解、異文化の尊重
- 思いやり、共感
- 自他の尊重、多様性の尊重
- 自主・自律、誠実

#### (考えさせる発問の例)

- あなたが藤野先生だったら、どのように考え、どうしたでしょうか。
- なぜ日本人学生は「私」に対して不愉快な行動をとったのでしょうか。あなたなら、普段から自分や自分の周りに対してどのように考え、行動していきたいと思えますか。
- 藤野先生と「私」のように国境を越えて互いに理解を深め合うために、あなたにできることはどんなことだと思えますか。

## 数学科

### ◇教科の目標◇

「数学的活動を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、事象を数学的に考察し表現する能力を高め、創造性の基礎を培うとともに、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。」

### <道徳教育との関連>

- 事象を数学的に考察し筋道を立てて考え、表現する能力を高めることは、道徳的判断力の育成に資する。
- 数学を積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てることは、工夫して生活や学習をしようとする態度を育てることに資する。

### <実践例>

科目・題材	数学Ⅰ 「数と集合」
内容	例えば、命題「 $x > 2$ ならば $x > 0$ である。」について、数の集合 $A = \{x \mid x > 2\}$ 、 $B = \{x \mid x > 0\}$ を考え、 $A \subset B$ であることを数直線を利用して理解させ、命題の真偽を扱う。

#### (在り方生き方に関する教育の展開)

この学習を通して、論理的に考える方法を身につけることにより、主体的に判断する力を養う。また、ものごとを多面的・統合的にみることや、与えられた条件や情報を総合的に判断して、答えを吟味することの必要性に気づかせる。

#### (関連する道徳的価値)

- 公正・公平
- 真理の希求
- よりよい社会の実現

#### (考えさせる発問の例)

- なぜ真と考えましたか？ なぜ偽と考えましたか？ その理由を述べられますか。
- 解を、すべての条件や情報を含めて判断できていますか。

## 保健体育科

### ◇教科の目標◇

「心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。」

### <道徳教育との関連>

- 公正、協力、責任、参画などに対する態度の育成に資する。
- 粘り強くやり遂げる、ルールを守る、集団に参加し協力する、といった態度が養われる。
- 健康の大切さを知り、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善することにつながる。

### <実践例>

科目・題材	体育 「体づくり運動・体力を高める運動」
内容	ストレッチの方法や実施の際のポイントを学び、自己の体力に応じたストレッチメニューを選び、実践する。また、総合的な体力を高めるための運動について、目的に応じて負荷の強度や量、運動の構成を考え、実践する。

#### (在り方生き方に関する教育の展開)

これらの学習を通して、望ましい生活習慣の在り方や、体力を高めるための運動の大切さを考えさせる。

また、体力差に配慮しながら協働して活動する方法について考えさせることを通して、他者と協力し合うことや、集団の中の自分の在り方について考えを深めさせる。

#### (関連する道徳的価値)

- 望ましい生活習慣の確立
- 向上心
- 友情、励まし合い、高め合い、思いやり
- 集団の一員としての役割、責任の自覚

#### (考えさせる発問の例)

- 日常生活に、これらのストレッチや体力を高める運動をとり入れることで、あなたの生活はどのように変わるとおもいますか。
- 体力や生活習慣が異なるみなさんが、それぞれ自分の力を発揮して頑張ることができる雰囲気づくりをするためには、どのようにしたらよいでしょうか。

## 芸術科

### ◇教科の目標◇

「芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。」

### <道徳教育との関連>

- 芸術を愛好する心情を育て、感性を高めることは、美しいものや崇高なものを尊重することにつながる。
- 芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養うことは道徳性の基盤の育成に資する。

### <実践例>

科目・題材	音楽Ⅰ 「ベートーベンの生涯」
内容	ベートーベンが晩年だんだんと聴力を失っていったことに触れ、音楽家にとって命ともいえる聴力を失うということはどういうことなのかを考えさせる。また、その状況でも作曲を続けることができた精神力の強さや、音楽にかける思いに迫る。

#### (在り方生き方に関する教育の展開)

この学習を通して、逆境に負けず自己の生き方を貫き通す強い意志や芸術を愛する心について、考えを深めさせる。

#### (関連する道徳的価値)

- 希望、勇気、強い意志、努力
- 向上心
- 美しいものに感動する豊かな心

#### (考えさせる発問の例)

- 音楽家として必要な聴力を失っていく中でも作曲を続けることができたのはなぜだと思いますか。

## 外国語科

### ◇教科の目標◇

「外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。」

### <道徳教育との関連>

○世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献することにつながる。

### <実践例>

科目・題材	コミュニケーション英語Ⅰ 「Twice Bombed, Twice Survived」(ELEMENT English Communication Lesson 4)
内容	<p>2009年、アメリカのオバマ大統領はブラハの演説で、米国は核兵器のない世界の平和を追求していくという決意を述べた。「私たちは主張しなければいけません、『イエス・ウィー・キャン』と。」同年、彼はノーベル平和賞を受賞した。</p> <p>山口彊(つとむ)さんはこの演説を聞いてオバマ大統領に手紙を送った。彼は広島と長崎の両市で被爆した「二重被爆者」であり、著書、短歌、スピーチなどを通して反核を訴え続けてきた。オバマ大統領の決意に感動し、「自分もまた、残りの人生をかけて核兵器の廃止を訴える。」との決意を綴ったのである。</p>

#### (在り方生き方に関する教育の展開)

体験者の思いを読むことで、平和な世界とはどのようなものか気付かせるきっかけとする。また、平和な世界を創るために「自分自身ができること」について考えを深めさせる。

#### (関連する道徳的価値)

- 人類愛、平和
- 正義
- 理想の実現
- 生命の尊重

#### (考えさせる発問の例)

- 平和な世界とはどのようなものだと思いますか。
- 核兵器や、戦争とはどのようなものだと思いますか。
- 人はなぜ、ときに国籍、人種、宗教の違いが原因で憎しみ合うのだと思いますか。
- 平和な世界の実現のために、あなたにはどのようなことができると思いますか。

## 情報科

### ◇教科の目標◇

「情報及び情報技術を活用するための知識と技能を習得させ、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、社会の情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。」

### <道徳教育との関連>

○情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度を身に付けさせ、情報社会に参画する態度を育成することにつながる。

### <実践例>

科目・題材	社会と情報 「インターネット上の個人の責任」
内容	<p>インターネット上の電子掲示板には、世界中の誰でもが自由に書き込むことができ、読むことができるという特徴がある。これは、個人の発言の場所が増えるという長所ではあるが、一方で、この特徴を悪用し、電子掲示板上で他人を特定できる形で誹謗中傷する者も後を絶たず、社会問題になっている。</p> <p>また、インターネット上で社会的ネットワークを構築するサービスである SNS でのトラブルも目立ってきている。特定のメンバーであるという安心感から、現実世界と同じ気軽さでメッセージのやり取りが行われ、誹謗中傷や個人情報の流出などの弊害も非常に大きいものである。</p>

#### (在り方生き方に関する教育の展開)

これらの学習を通して、インターネット上の個人の責任、インターネット使用上のマナーや関連法等の遵守について考えさせる。また、人権尊重や他者への配慮について、思考を深めさせる。

#### (関連する道徳的価値)

- 礼儀、時と場に応じた適切な言動
- 思いやり
- 人格の尊重
- 規範意識

#### (考えさせる発問の例)

- なぜ、電子掲示板や SNS では、他人を誹謗中傷するような書き込みをする人が出てくるのでしょうか。
- なぜインターネット上に気軽に個人情報を掲載すると問題があるのでしょうか。
- インターネット上のサイトへの書き込み方として、あなたが気をつけたいのはどのようなことですか。

## 特別活動

### ◇特別活動の目標◇

「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。」

### <指導に当たっての配慮>

○社会の一員としての自己の生き方を探求するなど、人間としての在り方生き方についての指導がホームルーム活動を中心として、特別活動の全体を通じて行われるようにする。またその際、他の教科、特に公民科や総合的な学習の時間との関連を図るようにする。

### <実践例>

活動場面・題材	LHR 「文化祭の事後指導」
内 容	<p>文化祭終了後、ホームルームの取組について、アンケート形式の質問に答えさせることで、自分自身及びホームルームの活動状況を振り返らせる。さらに、アンケートの結果について班ごとに話し合いをさせた後、ホームルーム全体で意見交流を行い、今後のホームルーム活動の在り方について考えを深めさせる。</p> <p>*アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○あなたはホームルームの取組に積極的に参加できましたか。</li> <li>○この取り組みを通じて、あなた自身の課題は何でしたか。</li> <li>○あなたは今後のホームルーム活動にどのようにかかわろうと考えますか。</li> <li>○ホームルーム全体の取組状況について、成果と課題をあげてください。</li> </ul> <p>*班討議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームルームの取組状況について、成果と課題を整理しよう。</li> <li>○ホームルーム活動を充実させるための具体的な方策を検討しよう。</li> </ul>

#### (関連する道徳的価値)

- 集団生活の向上
- 学級の一員としての自覚
- 信頼、高め合い、協力
- 自主・自律、責任

#### (指導のポイント)

- 行動を振り返るとき、そのときどんな気持ちだったのか、なぜそう思ったのか等、自己を見つめることができるようにする。
- 集団や社会の一員として、これからの自己の在り方生き方について、思考を深められるようにする。

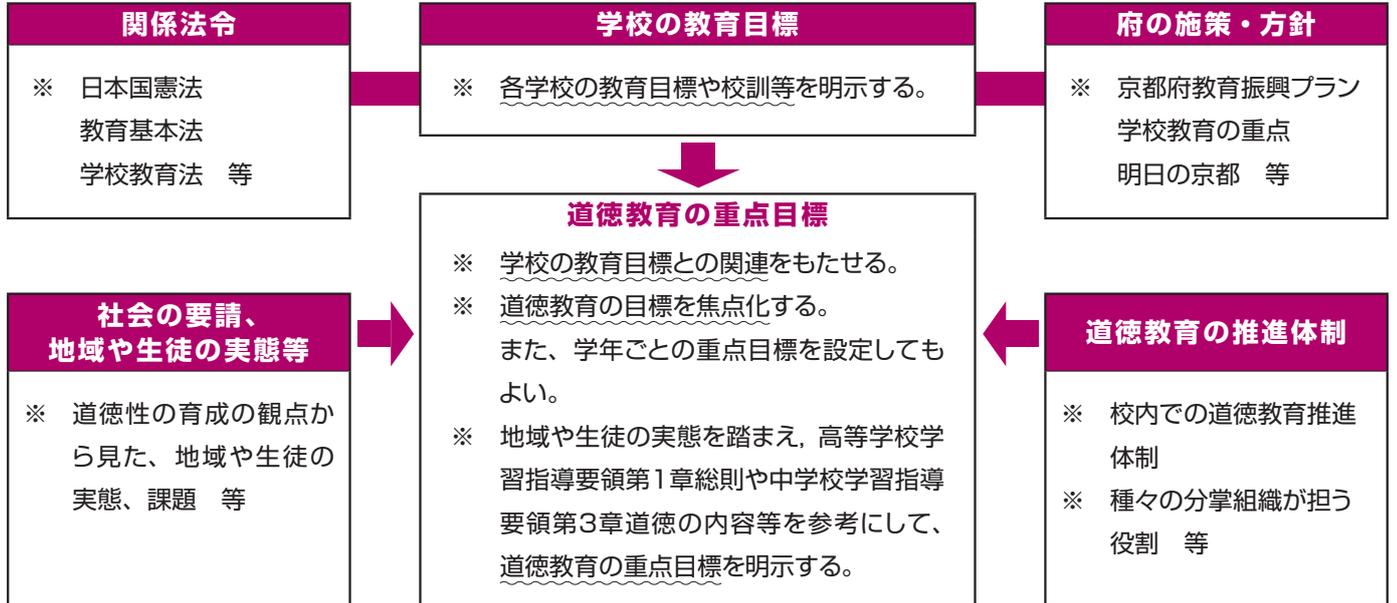
Q 道德教育の全体計画はどのように作成しますか？

A 学校の教育目標や育てたい生徒像から、道德教育の目標を焦点化し、学校の教育活動全体を見渡して作成します。

道德教育全体計画

(平成〇〇年度入学生)

京都府立〇〇高等学校 [〇〇分校・〇〇課程]



各教科・科目、総合的な学習の時間、特別活動における関連

※ 高等学校学習指導要領解説総則編や各教科等ごとの解説中の道德教育に関する記述などを参考にしつつ、中核的な指導場面である公民科の「現代社会」及び「倫理」、特別活動の〔ホームルーム活動〕を始めとして、各教科、総合的な学習の時間、特別活動における道德性の育成にかかわる内容を記述する。

各教科の授業を通して、どのように「在り方生き方に関する教育」を行うか、具体的に記述する。

(記入例)

- 国語：文学作品の読解や表現活動を通して…
- 地歴：日本や世界の歴史・地理についての…
- 公民：社会の在り方や人間の在り方を考察する…
- …
- 家庭：主体的に生活を創造する学習を通して…
- 情報：情報社会で適正な活動を行うための考察を通して…
- 農業：生物の育成や、農業の社会的役割を学ぶことを通して…
- 産業社会と人間：産業社会における自己の将来を考慮…
- 総合的な学習の時間：学び方やものの見方を養う活動を通して… 等

特別活動等を通して、どのように「在り方生き方に関する教育」を行うか、具体的に記述する。

(記入例)

- 学級活動：ホームルーム活動を通して望ましい人間関係を確立し…
- 生徒会活動：自主的・自発的な活動を通して…
- 学校行事：文化祭、体育祭などの行事への取組を通して… 等

他に、就業体験、ボランティア活動のような、各学校で重点的に取り組んでいる活動などについても記述する。

生徒指導における関連、学校の環境の充実

※ 生徒指導等生活全般における関連、教育環境にかかわる内容 等

家庭・地域との連携、異校種との連携

※ 保護者や地域の人々の積極的な参加を得る方策  
 ※ 家庭・地域との連携、近隣の中学校等の異校種との連携 等